



大阪事業所の電子化学グループは、名前の通り、電子関係の業務がメインですが、その他工業支援、医薬、環境関連等の分析を行っています。グループは大橋グループリーダーを中心に電子材料チームと電材微量チームの2つのセクションから構成されています。

当グループの特徴は、有機分析・無機分析の両方を兼ね備えた総合分析グループで「微量・微小・微細」分析を得意としております。

## 1 電子材料チーム

有機構造解析を担当する電子材料チームは、末広、森川を中心に電子線マイクロアナライザー（EPMA）、走査型顕微赤外分光分析装置（IR $\mu$ S/SIRM）、X線回折分析装置（XRD）等の大型機器を駆使し、微小分析を手掛けています。またマイクロコンピュータを使ってマイクロオーダーの微小異物を取り出して直接分析することもできます。

最近では、ノートパソコン等に使用されている液晶表示部の構造解析や、携帯電話、小型MDプレーヤー等に使

用されているリチウムイオン二次電池の組成分析にも取り組んでおり、ますます幅広い分野で実績を挙げつつあります。

## 2 電材微量チーム

電材微量チームは白國、幸田を中心にppt～%オーダーにいたる幅広い濃度範囲の無機元素の定



性・定量分析が主な業務です。

装置は原子吸光分析計（フレームAA，電気加熱AA），誘導結合プラズマ発光分析装置（ICP-AES），誘導結合プラズマ質量分析装置（ICP-MS），イオンクロマトグラフ（IC）等を主に使用し、また微量分析に対応するためクリーンルーム（クラス100，1000）も設置し、微量分析の前処理・測定を実施しています。

電子関係ではフォトレジスト中の微量金属分析，超純水中の不純物分析（金属，アニオン），クリーンルームエア中の

金属，アニオン成分分析等を得意としております。また，これらで培われた技術を駆使し，医薬品，高機能性樹脂，環境試料等の微量金属分析も手掛けております。

## <ISO 9001取得>

当大阪事業所はお客様の信頼をよりいっそう高めるため、一昨年の7月にISO 9001を認証取得致しました。これにより設計・開発段階からルーチン分析に至るまでの全ての委託分析についてISO認証ラボとして信頼できる正確なデータをお客様に提供いたします。

## <当グループのモットー>

電子化学グループのモットーは、「あらゆる試料に対しても各人の持ち味を活かし、あらゆる状況にも対応出来る事」を日々心掛けています。

最近では難易度の高い分析依頼が多くなってきていますが、全員の力を集結し分析のプロとしていかなるご依頼に対しても「やってやれないことはない」の精神で皆様のご依頼を心からお待ちしております。



前列左より寺西、火口、細谷、大橋、深井、吉田、道崎  
後列左より東、川越、梅本、白國、永田、幸田、末広

SCAS

施設

技術